

- 1 ご挨拶
- 2 Photo Graf. コラム
- 3 国会Report . News
- 4 声、はげます会コーナー



新年にあたり、皆様のご健康・ご多幸をお祈り申し上げます。



昨年の参議院選挙では、みなさまからたいへん大きなご支援をいただき、本当にありがとうございました。皆様の温かい励ましによって、910,114票という想像を超えた票が獲得でき、当選をさせていただきました。多くの働く仲間の献身的な運動やどうしても今の政治を変えてほしいと願う市民の声によってもたらされた勝利だ、ということを決して忘れることなく、これからの政治活動に力いっぱい取り組んでいくことをお約束します。



台風23号被害を岡田代表と共に現地調査(04.10.24)

かったことは残念でなりません。

今台風・地震による多くの被災者が苦しんでいるなか、困っている国民を救うことのできる真のリーダーが求められています。災害という非常事態の際にこそ、本当の「国」の力と価値が問われます。災害が起こったときには、被災者の立場にたった復旧・復興をすることが国の仕事です。被災して途方にくれている国民をいかに大切にできるかが、国の力であるのにと、悔しい思いもしました。

1月中旬には、通常国会が始まります。年金・介護・教育など積み残された課題を解決するために、全力でがんばってまいります。今後ともよろしくご支援くださいますよう、心よりお願い申し上げます。



連合兵庫もちつきフェア(04.12.11)

当選後の7月30日、第160回臨時国会が開会され、初の国会に臨みました。与党は、年金について十分な議論をするべきとの民意を全く無視し、私たち民主党が提出した「年金改正法廃止法案」を否決して、わずか8日で終わらせてしまいました。

秋の第161回臨時国会では、相次ぐ台風や地震の災害対策と「被災者生活再建支援法改正案」提出、日歯連の一億円をはじめとする「政治とカネ」問題、イラクにおける自衛隊の撤退問題、年金改革を具体化した「年金改革法案」提出など、緊急かつ重要な問題解決に全力を尽くしました。

しかし、十分な審議を要求する民主党に対し、審議打ち切りを強行する与党・小泉政権の横暴が目立つ国会となり、十分な成果をあげられな



参議院議面前で「義務教育費国庫負担堅持、教育予算拡大」の請願を受ける(04.11.4)



当選が決まりバンザイ!(04.7.11)



高退連学習会で講演(04.12.11)



**Shunichi
Mizuoka
Photo Graf**



参議院初登院(04.7.30)



民主党兵庫県連大会であいさつ(04.12.12)



三宅島を視察(04.11.22)



台風21号の三重県宮川村の被害視察
(04.10.13)



台風23号被害地視察(04.10.24)

強まる「所得格差」と「希望の格差」にストップ!

バブル崩壊後の日本で、「勝ち組」「負け組」という言葉が、優良企業と倒産の危機に陥る企業に使われていました。しかし、いまや、企業ではなく、生活のあらゆる領域に当てはまってきています。

厚生労働省の所得再分配調査の当初所得を5グループに分けて比較すると、上位20%の所得の高いグループが総所得の50.4%を占めているのです。まさに、日本社会は、二極化し、「弱者切捨て」の小泉総理の構造改革によって、「富める者がますます豊かになり、中流以下が没落する」という「1億総中流」の崩壊が始まっています。

長引く不況で、所得格差に加わったのが、「希望の格差」。フリーター417万人、15歳から24歳の失業者約69万人、ニート(無業者)約30万人。いま日本社会には、失業などのリスクと二極化により、大人だけでなく、若者、子どもたちが将来に希望を持ってない波が押し寄せているのです。

いまほど日本が、本当の意味での機会均等の確立、大人も、若者も安心・信頼できる社会保障制度の再設計など、社会のリスクや格差を少なくする公共的支援、施策の充実を求められている時はないのです。

(怒)

「総務委員会」「災害特委員会」で質問

災害被災者への支援策拡充と国による専門家 援助チームの創設を提起

水岡俊一参議院議員は10月26日(火)の総務委員会の初質問に続き、11月10日(水)にも災害対策特別委員会で質問しました。

総務委員会では、初質問にもかかわらず60分にわたって、人事院勧告、公務員に対する評価制度の導入、健康管理などについて政府人事院の対応を質しました。これに対して、「評価制度が充分機能するには職員側の理解と納得が必要不可欠」(人事院)、「健康づくり対策の指針に基づいて各省庁と連携して役割をしっかりと果たす」(人事院)など今後の確認をとりました。

災害対策委員会では、兵庫県全域に甚大な被害をもたらした台風23号の被害対策について質問しました。具体的には、豊岡市、出石町に大きなダメージを与えた円山川の堤防の決壊、豊岡市内の浸水の科学的



総務委員会(04.10.26)

な原因究明と早急な対応策、また、県下各地で深刻な被害を受けた地場産業への支援策の拡充を求めました。

これに対して、「関係省庁、特

に国土交通省河川局、関係地方公共団体により原因究明、対策を早急に講じていただく」(内閣府)

「雇用保険の弾力的運用、適時適切、個別企業の実情に応じた対応をしていただく」(厚生労働、経済産業省)との答弁を引き出しました。

また、阪神・淡路大震災を体験した議員として、新潟中越地震の子どもたちのケアのために教育復興担当教員の早急な配置、兵庫県教育委員会が新潟中越地震をはじめ、被災地の避難所となった学校に派遣している「震災・学校チーム」を紹介しながら、専門的に対応することができる援助チームを国の責任で設立することが災害では求められていると指摘。「被災地の学校、教育委員会も心強く感じており、高く評価したい」(文部科学省)「災害に際してご指摘のような仕組みをつくっていただけると、考えております」(防災担当大臣)との前向きな答弁を得ました。その結果、12月1日から新潟県に147人の復興担当教員が配置されました。



災害対策特別委員会(04.11.10)

News

未来を担う子どもたちのために

義務教育費国庫負担制度、教育基本法改悪の危機を八ネかえそうと、9月17日、18日、10月28日、11月4日、21日、12月1日・・・と集会、国会要請が何度も行われました。

水岡俊一参議院議員も臨時国会の合間をぬって、集会、国会要請に駆けつけ、全国から参加した教職員の皆さんや多くの人たちと心をつにし、「ガンバルぞ!」と決意を固めました。



義務教育費国庫負担、教育基本法は、2005年、今年が正念場です。水岡俊一参議院議員も、「未来を担う子どもたちのために」全力で前進します。

被災者への万全な支援策を

各地で、災害に見舞われた日本列島。兵庫でも、たび重なる台風による風雨の被害が、続出しました。なかでも台風23号による被害は、河川の氾濫、堤防の決壊、



土砂崩れ、また、予想を超える浸水をもたらしました。

参議院災害対策特別委員の水岡俊一参議院議員は、但馬地域、北播地域、淡路地域の被災現地を調査、地元行政からの説明と、国に対する緊急要望を受け、「復旧と被災者の一日も早い市民生活の回復に、万全の支援策の実施が必要、全力を挙げる」と、被災者を激励しました。

今後、防災と被災者支援のための法整備の拡充に、水岡俊一参議院議員は頑張ります。

水岡議員は、新しい時代をリードする政治家

前参議院副議長 本岡 昭次



水岡俊一さんが91万余票でトップ当選を果たし、参議院議員としてのスタートを切って早や半年が過ぎました。

「政権交代を可能にする民主主義」をめざし、政界再編の戦国時代を懸命に生きぬいてきた私の志を水岡議員が引き継いでくれることになりました。これ程うれしいことはありません。

水岡議員誕生に大きなご支援をいただいた県民の皆さんに私からも心よりのお礼を申し上げます。

「新しい酒は、新しい皮袋に」です。水岡議員は新しい時代をリードする新しい政治家をめざし、着

実に力強い一歩を踏みだしています。ご期待ください。

私は今「国際人権法政策研究所」を創設し、水岡議員の参議院議員会館502号室を拠点に活動を開始しています。「人権の水岡」として大きな飛躍を願いながら水岡議員の政治活動を支えていきたいと決意しています。

また「みずおか俊一はげます会」の会長として6年後、2期目の選挙を視野に入れて頑張ってます。

支持者の皆さんも、どうかよろしく願います。

インターネットでいつでも国会中継をみることができます!

ほとんどすべての国会審議、委員会審議がライブラリとして保存されているので、過去のものを探し出して見ることができます。テレビの放映がなくても、国会審議の様子を見ることができるなんて、国会がずいぶん近くなりましたよね。

では、水岡俊一参議院議員が災害対策特別委員会で行った質問を見る方法をご紹介します。

1. インターネットに繋がります
2. 参議院ホームページを探します。(<http://www.sangiin.go.jp/>)
3. 「参議院審議中継」をクリック
4. ビデオライブラリ 会議検索 会議や質疑者名からの検索と順にクリック
5. 質疑者に水岡俊一を入力して「検索」をクリック
6. 災害対策特別委員会の右端の「参照」をクリック
7. 水岡俊一(民主)の右端のマーク(どちらか)をクリック
8. これで委員会審議の様子をみることができます。



はげます会コーナー

多くの皆さんのお支えで、たたかいぬいた参院選、民主党や連合に結集される労組の皆さんはもちろん、学校時代の友人たち、勤務した職場の先輩・同僚、また応援にかけつけていただいた学者・文化人の方々など、それぞれの立場で、「はげます会」への加入や、支持者の紹介運動に取り組んでいただきました。本当にありがとうございました。

今後、参議院議員としての活動をすすめるなかで、引き続きご支援をいただかなくてはなりません。

名簿の整理をし、はげます会活動をすすめてまいりたいと考えています。ご協力をよろしくお願いいたします。

編集後記

「活動の報告は議員の責務」と本岡先輩の言葉。早くお届けしなくてはと焦りましたが、やっとできました。ご批評ください。

タイトルを“On-line(オンライン)”と名付けました。いつも支援者のみなさんにつながっている。そして、一方通行の報告ではなく、双方向で情報や意見のやりとりをしたいとの想いを込めました。

今後、年3回の発行を予定しています。また、ホームページやファクシミリ等による報告も月1回程度実施したいと考えています。(俊)

ホームページ等紹介



みずおか俊一 <http://www.mizuoka.net/>
 民主党 <http://www.dpj.or.jp/>
 民主党兵庫県総支部連合会 <http://www.kansai.ne.jp/dpjhyogo/>

E-mail : shunichi_mizuoka@sangiin.go.jp